

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 4 月 22 日

茨城県知事 殿

提出者
住 所 茨城県坂東市幸神平 33
氏 名 株式会社モンテール つくば工場
上席執行役員生産本部長 大曲 治
電話番号 0297-36-1601

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社モンテール つくば工場
事業場の所在地	茨城県坂東市幸神平 33
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

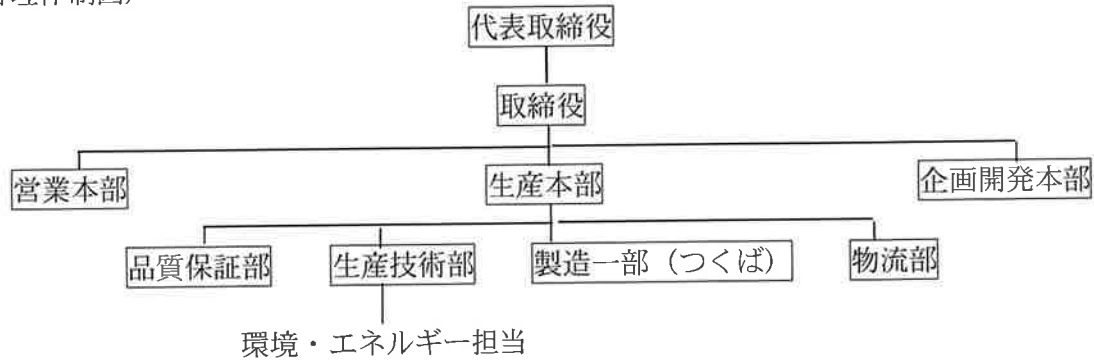
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	売上 139.6 億円
③ 従業員数	660 人（社員、パート、請負含む）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動植物性残渣 : 分別飼料化（有価） 処理委託（飼料化、肥料化、焼却熱回収～再生砕石） 廃プラスチック : 分別洗浄し有価 処理委託（破碎・圧縮～資源化） 焼却熱回収～再生砕石 汚泥 : 処理委託 醗酵堆肥化 混合廃棄物 : 処理委託 破碎～資源化 廃蛍光管 : 処理委託 水銀過熱回収～資源化 廃乾電池 : 処理委託 再生（水銀、亜鉛原料、スクラップ）

(日本工業規格 A 列 4 番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	
	（これまでに実施した取組） 動植物性残渣：①分別による飼料化（有価）②生ゴミ処理機による肥料化 ③生産ラインの歩留アップと廃棄率削減 廃プラスチック：分別洗浄で有価物増による廃棄物の減量 汚泥：排水処理設備の水質、設備管理と生産設備付着生地・クリーム等の拭取り徹底、含水率低減 その他廃棄物：徹底した分別による有価物拡大と再生利用		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	
	（今後実施する予定の取組） 実施した取組みの継続 各部門との関係による廃棄、原材料ロスの削減 製品廃棄のさらなる分別強化 照明設備のLED化拡大		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 動植物性残渣：容器、袋と中身を分別し有価物（飼料）にしています 廃プラスチック：原料袋、ビニールを分別洗浄し有価物にしています 金属、段ボール、紙類、缶等分別し有価物にしています		
	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 徹底した分別により有価物を増やし廃棄物排出量の削減に繋げる。 動植物性残渣の分別強化により廃プラスチックと食品残渣とする。		
②計画			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	動植物性残渣：①有価物 ②飼料化 ③肥料化 ④熱回収の優先順位で 業者選定を行い廃棄物排出量の削減と食品リサイクルを行った 廃プラスチック：原料袋、包材、ビニール等分別し有価物を増やし 廃棄物排出量を削減、廃棄物はリサイクル業者選定 その他廃棄物：分別により有価買取業者選定、廃棄物はリサイクル業者を選定		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施した取組の継続 動植物性残渣の徹底した分別により廃プラスチック類と食品残渣とする。		
※事務処理欄			

(別紙1)

	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
	①現状 令和5年度実績					
産業廃棄物の種類	脱水汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	混合廃棄物	廃蛍光管	廃乾電池
排 出 量	771.02t	240.63t	409.35t	1.31t	0.275t	0.052t
	②計画 目標					
産業廃棄物の種類	脱水汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	混合廃棄物	廃蛍光管	廃乾電池
排 出 量	760t	230t	400t	1.2t	0.3t	0.05t

	産業廃棄物の委託に関する事項					
	①現状 令和5年度実績					
産業廃棄物の種類	脱水汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	混合廃棄物	廃蛍光管	廃乾電池
全処理委託量	771.02t	240.63t	409.35t	1.31t	0.275t	0.052t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	771.02t	31.45t	197.93t	1.31t	0.275t	0.052t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		209.18t	211.42t			
	②計画 目標					
産業廃棄物の種類	脱水汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	混合廃棄物	廃蛍光管	廃乾電池
全処理委託量	760t	230t	400t	1.2t	0.3t	0.05t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	760t	30t	195t	1.2t	0.3t	0.05t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		200t	205t			